

麻酔・疼痛・緩和医療科 研修登録医プログラム 1

プログラム名=Advanced Difficult Airway Management (ADAM) 習得プログラム 1

目 標 :

- 1) 気管挿管困難を術前に予測する方法を習得する
- 2) 喉頭鏡による気管挿管手技をスキルアップする
- 3) 喉頭鏡以外の様々な気管挿管手技を習得する
- 4) 予期せぬ気管挿管困難へ適切に対処する能力を身につける
- 5) 気管挿管困難患者への適切な情報提供が出来る

方 略 :

- 1) 期間・研修開始時期：3ヶ月（12週間）・任意に設定できる
- 2) 指 導 医：田口 奈津子（准教授、麻酔・疼痛・緩和医療科）
- 3) 募集定員：同一時期に2名まで
- 4) 研修内容：
 - ① 術前にベッドサイドで気管挿管困難を予測するための、適切な視診・理学所見を身に付ける
 - ② 麻酔導入時のマスク換気困難を予想する方法を学ぶ（問診・理学所見のポイント、夜間パルスオキシメトリー検査やセファログラムの実施と結果の解釈）
 - ③ 適切な周術期気道管理計画を立てる
 - ④ 麻酔導入前の適切な準備方法を身に付ける（必要な器具の準備、患者の体位取りや処置）
 - ⑤ 適切なマスク換気の方法を習得する
 - ⑥ 喉頭鏡以外の方法での気管挿管方法を身につける（覚醒時の経口または経鼻気管支ファイバー挿管、麻酔導入後の経口または経鼻気管支ファイバー挿管、ビデオ喉頭鏡、経声門上器具挿管、など）。
 - ⑦ 予期せぬ気管挿管困難への対処方法を身につける
 - ⑧ 気道困難患者の安全な気管内チューブ抜去方法を身につける
 - ⑨ 特殊な気道管理が必要であった患者へ、適切な情報提供を行う方法を身につける

5) スケジュール

No.	日 時	研 修 項 目	指 導 医	場 所
1	月～金	オリエンテーション、施設見学、 スタッフ紹介など		手術室
2	月～金	研修の実践（麻酔管理も行う）		手術室・周術期管理センター
3	月～金	研修の実践（麻酔管理も行う）		手術室・周術期管理センター
4	月～金	研修の実践（麻酔管理も行う）		手術室・周術期管理センター
5	月～金	研修の実践（麻酔管理も行う）		手術室・周術期管理センター
6	月～金	研修の実践（麻酔管理も行う）		手術室・周術期管理センター
7	月～金	研修の実践（麻酔管理も行う）		手術室・周術期管理センター
8	月～金	研修の実践（麻酔管理も行う）		手術室・周術期管理センター
9	月～金	研修の実践（麻酔管理も行う）		手術室・周術期管理センター
10	月～金	研修の実践（麻酔管理も行う）		手術室・周術期管理センター
11	月～金	研修の実践（麻酔管理も行う）		手術室・周術期管理センター
12	月～金	試験、修了認定		手術室・周術期管理センター

評 価：

1) 実地試験（手術室にて指導医が評価）

修了認定：

評価基準を満たしたものにコース修了証書を授与する